

---

# 付属資料

---

■□■□■	後期基本計画策定の経過	■□■□■
■□■□■	岡谷市基本構想審議会条例	■□■□■
■□■□■	岡谷市基本構想審議会委員公募要領	■□■□■
■□■□■	岡谷市基本構想審議会委員	■□■□■
■□■□■	岡谷市基本構想審議会に対する市長の諮問	■□■□■
■□■□■	岡谷市基本構想審議会から市長に対する答申	■□■□■
■□■□■	市民等の意見募集（パブリックコメント）に寄せられた意見	■□■□■

## 後期基本計画策定の経過

年月日		説明
3月	27日	第4次岡谷市総合計画後期基本計画策定プロジェクトチーム発足 ※以後、プロジェクトチーム会議を6回開催
4月	11日	第1回岡谷市総合計画後期基本計画策定委員会
5月	15日	市民アンケート（1,000人対象）
7月	7日	第1回市民総参加のまちづくりフォーラム
	11日	第2回市民総参加のまちづくりフォーラム 第2回岡谷市総合計画後期基本計画策定委員会
	17日	第3回市民総参加のまちづくりフォーラム
	22日	第3回岡谷市総合計画後期基本計画策定委員会
	23日	第1回まちなかアンケート
	26日	第4回岡谷市総合計画後期基本計画策定委員会
	27日	第4回市民総参加のまちづくりフォーラム 第2回まちなかアンケート
	29日	第5回岡谷市総合計画後期基本計画策定委員会
8月	2日	第1回子ども会議
	8日	第2回子ども会議
	12日	第6回岡谷市総合計画後期基本計画策定委員会
	21日	臨時行政管理委員会 ※「後期基本計画(案)」決定
	26日	市議会全員協議会 ※「後期基本計画(案)」報告 第1回岡谷市基本構想審議会 ※委嘱、「後期基本計画(案)」諮問
	27日	パブリックコメント（第一次） [～9月24日]
	31日	第3回子ども会議
9月	20日	第2回岡谷市基本構想審議会
	30日	市議会全員協議会 ※「後期基本計画(案)」意見聴取
10月	1日	第3回岡谷市基本構想審議会
	11日	第4回岡谷市基本構想審議会
	17日	第5回岡谷市基本構想審議会
	23日	第6回岡谷市基本構想審議会
11月	1日	第7回岡谷市基本構想審議会
	14日	岡谷市基本構想審議会 ※「後期基本計画(案)」答申
	16日	第5回市民総参加のまちづくりフォーラム ※パネルディスカッション
	28日	第7回岡谷市総合計画後期基本計画策定委員会
12月	2日	第8回岡谷市総合計画後期基本計画策定委員会
	16日	臨時行政管理委員会 ※「後期基本計画(修正案)」決定
	18日	市議会全員協議会 ※「後期基本計画(修正案)」報告
	19日	パブリックコメント（第二次） [～1月17日]
1月	27日	第9回岡谷市総合計画後期基本計画策定委員会
2月	3日	行政管理委員会 ※「後期基本計画」決定



## 岡谷市基本構想審議会条例

昭和52年6月25日

条例第19号

(設置及び所掌事項)

第1条 岡谷市の施策に関する総合的かつ基本的な計画について、市長の諮問に応じて必要な事項を審議するため、岡谷市基本構想審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 審議会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、知識経験者のうちから市長が委嘱する。

(委員の任期)

第3条 委員は、第1条に規定する市長の諮問に係る審議が終了したときは、その任期を終るものとする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長2人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(部会)

第6条 審議会は、必要に応じて委員で構成する部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、会長の指名する委員がこれに当たる。

4 部会長は、部会の事務を掌理する。

5 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(事務局)

第7条 審議会の事務局は、企画政策部企画課に置く。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

## 岡谷市基本構想審議会委員公募要領

### 1 目的

この要領は、市政の意思形成過程に市民等が直接参加する機会を確保するため、岡谷市の施策に関する総合的かつ基本的な計画について、市長の諮問に応じて必要な事項を審議することを目的に設置した岡谷市基本構想審議会の委員を市民等から公募することに関し必要な事項を定めるものとする。

### 2 公募委員の数

委員総数15人のうち公募による委員は3人とする。

### 3 委員の任期

審議会の設置規定に定める任期とし、8月下旬に予定する市長の諮問から審議が終了する日まで。(8月下旬から11月初旬を予定)

### 4 応募資格

公募により委員に応募できる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 応募日現在で他の審議会等の委員となっていない者
- (2) 本市の特別職及び常勤の一般職員並びに議員でない者

### 5 応募方法

応募しようとする者は、応募申込書(様式1)に必要な事項を記入のうえ、小論文を添えて企画課へ提出するものとする。

### 6 小論文のテーマ

「岡谷市のまちづくりについて」(800字以内)

### 7 周知方法

岡谷市ホームページ、行政チャンネル、地元新聞紙への記事掲載

### 8 募集期間

7月1日(月)～7月19日(金)

### 9 その他必要事項

特になし



## 岡谷市基本構想審議会委員

(五十音順)

会 長	横 内 敏 子	岡谷市衛生自治連合会
副会長	小 口 久 一	岡谷市区長会
副会長	太 田 博 久	岡谷市民憲章推進協議会
	鮎 澤 春 雄	岡谷市連合壮年会
	和 泉 ふみ子	一般公募
	伊 藤 覚	岡谷労務対策協議会
	笠 原 亥一郎	岡谷市地域福祉支援会議
	片 桐 協 子	一般公募
	小 林 睦 巳	岡谷商工会議所
	高見澤 恒 子	岡谷市女性団体連絡協議会
	濱 道 夫	岡谷市社会教育委員の会議
	丸 山 善 行	岡谷市P T A連合会
	宮 坂 博 明	一般公募
	矢 島 進	岡谷市消防団
	山 田 昌 義	諏訪圏青年会議所

25企第31号  
平成25年8月26日

岡谷市基本構想審議会  
会長 横内 敏子 様

岡谷市長 今 井 竜 五

諮 問 書

岡谷市基本構想審議会条例第1条の規定に基づき、第4次岡谷市総合計画後期基本計画について諮問申し上げます。

平成25年11月14日

岡谷市長 今 井 竜 五 様

岡谷市基本構想審議会  
会長 横 内 敏 子

第4次岡谷市総合計画後期基本計画について（答申）

平成25年8月26日付25企第31号をもって貴職から諮問されました第4次岡谷市総合計画後期基本計画について、本審議会は慎重審議の結果、別添のとおり答申します。



(別 添)

地方分権の進展により地方自治体は自主・自立の運営を求められています。岡谷市は、激動する社会情勢と長引く景気低迷の中、厳しい行財政運営を強いられていると思います。リーマンショックに端を発する経済不況は、産業界ばかりでなく私たちの生活にも大きな影を落とし、アベノミクスの効果もなかなか実感できない状況にあります。加えて、平成18年7月の豪雨災害や平成23年3月に発生した東日本大震災などの大規模災害と福島第1原子力発電所事故の発生を受け、生活の「安全・安心」を求める市民の声が高まってきており、私たち市民が行政に求めるニーズは年々多様化し、複雑化してきています。

今回諮問された第4次岡谷市総合計画後期基本計画は、基本構想に掲げた将来都市像である「みんなが元気に輝いたくましいまち岡谷」の実現に向けて、今後5年間に岡谷市が進んでいく道筋が明確に示されており、その推進に大きな期待を寄せるところですが、厳しい財政状況の中では、優先度を見極めて事業を実施することが大切になってきます。

特に、後期基本計画を推進していく今後5年間は、私たちの生命と健康を守る新岡谷市民病院をはじめ、新消防庁舎、新蚕糸博物館、看護専門学校、諏訪市、下諏訪町と取り組んでいる新ごみ処理施設など、市民生活の安全・安心を守り、健康で生きがいを持って暮らしていくための生活基盤を支える施設が次々に完成してまいります。こうした施設を、市民に親しまれ、愛される施設として、有効に活用し生かしていくことが重要となってきます。

そのためにも、具体的な取り組みを市民にわかりやすく提示し、市民の理解と協力を得ながら本計画を力強く推進していただくようお願いします。

本審議会では慎重に審議を重ねた結果、市民の幸せな暮らしの実現と、岡谷市のより一層の発展を願い、次のとおり意見・要望を添えて答申とします。

## 意見・要望等

### 【 全般的事項 】

1. 近年、全国で発生している大規模災害により、市民生活への不安が増してきています。市民の生命や財産、健康を守るための重点プロジェクトである「安全・安心の伸展」に基づく、積極的な取り組みをお願いします。
2. 人口減少が今後も進むことが予測される状況を踏まえ、住居・福祉・医療・交通などさまざまな都市機能を集積し、可住地面積や人口規模に適した機能性の高いまちづくりについて、長期的な視野にたって取り組んでいただくよう要望します。

### 【 基本目標1「魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち」 】

1. 後期重点プロジェクトである「たくましい産業の創造」を実現するため、本市の基幹産業である工業の振興を主体としながら、まちの活力を高めるため、商業や観光の振興にも積極的に取り組むよう強く要望します。また、市内の企業、店舗の効果的な情報発信の推進についても取り組みをお願いします。
2. 工業振興では、策定中の「工業活性化計画」の着実な実行の下、市内企業が保有している洗練された高度な加工技術の継承や企業間の連携による新たな付加価値の創造、医療や福祉、環境といった成長産業分野への参入など、本市の産業を支える市内中小企業の支援についてさらに積極的に取り組まれるよう要望します。また、雇用機会の拡大を図り、市内工業界に新たな風を吹き込めるよう、企業等の誘致についても引き続き取り組むことを要望します。
3. 商業振興では、市街地ににぎわいを生む魅力的な活性化施策を継続的に実施するとともに、空き店舗の解消を図るなど、中央通りを含む中心市街地、地域の商店街や個店の支援にも積極的に取り組むよう要望します。

4. 「岡谷ブランドブック」に掲げる「湖に映える美しいものづくりのまち」は素晴らしい言葉です。観光の振興を図るため、諏訪湖などの恵まれた自然環境や、シルク岡谷の歴史を伝える新蚕糸博物館、近代化産業遺産群などの歴史的資源、さらには地域の特産品の効果的な活用を図るなど、回遊性を高めるとともに、産業観光の取り組みを市民との協働により推進されるよう要望します。
5. 企業体質の強化や、後継者不足に対応するため、UターンだけでなくIターン、Jターンを含めた若年労働力の確保を図るとともに、女性の就労支援にも取り組むよう要望します。

#### 【基本目標2「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」】

1. 市民の健康を守るため、各種健診の受診率向上や、感染症の予防に積極的に取り組むよう要望します。
2. 平成27年度に開院する岡谷市民病院について、医療環境の変化に柔軟に対応しながら、市民ニーズの把握と、健全な経営に努め、思いやりがある、市民に親しまれ信頼される病院となるよう強く要望します。
3. 後期重点プロジェクトのひとつである「輝く子どもの育成」のため、子育てに悩む家庭や、働きながら子育てをする家庭などに対し、子育てに関する相談体制の充実を図り、行政や地域、企業等が一体となったきめ細かい子育て支援についての取り組みを要望します。
4. 少子化対策については、未婚の男女が増えていることから、出会いの場の創出が必要となっています。こうした婚活事業については、広域的に、大きな規模で取り組むことが有効ですので、県や広域連合が行なっている事業の積極的な活用と支援を要望します。
5. 地域サポートセンターについては、地域福祉の推進はもちろん地域コミュニティをより活発にしていく面からも、設置の促進と、地域間の情報交換や設立後の支援について積極的な取り組みをお願いします。

#### 【基本目標3「自然環境と暮らしが調和した、安全・安心のまち」】

1. 諏訪湖の浄化については、観光資源としての魅力を高めるためにも、県や近隣市町村との連携の下、積極的に取り組み、環境保全を図るよう要望します。
2. 生ごみを含む可燃ごみの減量と、ごみの分別、資源化を推進するとともに、不法投棄についても、条例に基づき監視体制を強化し、環境保全と循環型社会の実現に取り組むよう要望します。また、子どもエコクラブなど、環境活動に取り組む子どもたちの団体について積極的な支援をお願いします。
3. 市民が安心して生活できるよう、空き家の適正管理や防犯灯の設置など防犯対策に積極的に取り組むとともに、子どもの交通安全指導などについて取り組みを進めるよう要望します。
4. 再生可能エネルギー利用促進の取り組みについては、早急に取り組むべき課題であり、公共施設への導入も含め、積極的に推進されるよう要望します。
5. 近年多発する豪雨による溢水被害など、災害への対策は喫緊の課題であると思います。予期せぬ場所や規模の災害の発生を念頭に、平成18年7月豪雨災害の教訓を活かした災害発生時の情報提供に万全を期するとともに、県など関係機関と連携し、防災・減災対策を早急に進められるよう要望します。また、地域防災力の根底を支える組織であるとともに、地域の人材育成にも大きな役割を果たす消防団についても、団員確保への積極的な支援をお願いします。

#### 【基本目標4「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」】

1. 青少年の健全育成のため、いじめや不登校などの課題に的確な対応を図るとともに、家庭問題や生活環境など、様々な課題を抱える子どもたちが安心して学び、育つよう、家庭、学校、地域が連携して支えられる環境づくりの推進を要望します。  
また、放課後子どもの居場所づくりや学童クラブの充実を図り、子どもの自発的な成長を促す活動を含めた青少年活動の推進をお願いします。





2. 子育てに関する学校への依存度が高まり、教師の疲弊が指摘される中、学校と家庭、教師と保護者の情報共有の難しさなどから生じる様々な問題が心配されています。学校、家庭、地域がお互いの役割を再認識し、より一層連携を深めながら、未来を担う子どもたちの健全な成長を図るための仕組みづくりに取り組むよう要望します。
3. 新美術考古館や新蚕糸博物館、点在する史跡公園を最大限に活用し、製糸に始まるものづくりの伝統など、岡谷市独自の歴史、文化の継承と発展に向け積極的に取り組まれるよう要望します。新美術考古館については、市民による施設の利活用を促進するとともに、商店街の中という立地と、近隣の文化施設、生涯学習施設との連携を最大限に活用し、文化を核にしたまちづくりの推進に取り組むよう要望します。
4. 充実したスポーツ施設など、恵まれた環境を有効に活用し、幼少期からスポーツに親しむことのできる環境づくりや生涯スポーツのさらなる推進を図るとともに、公益財団法人岡谷市体育協会等と連携しながら、青少年を教えるスポーツ指導者の育成やスポーツ団体への支援を行うようお願いいたします。

**【 基本目標 5 「快適に生活できる、都市機能の充実したまち」 】**

1. 岡谷駅周辺をはじめとする中心市街地の整備や岡谷インターチェンジ周辺的环境整備などについては、社会経済情勢の変化を的確に捉える中で、地域や関係機関等と調整を図りながら、まちの玄関口としての魅力をより一層高めるよう、対応をお願いいたします。
2. 市営住宅の適正な管理について、単身高齢者が増加していることから、安心して生活ができるようきめ細かい対応をお願いいたします。
3. 人口減少に歯止めをかける移住・定住対策として、空き家の積極的な活用を要望します。
4. 子どもから高齢者まで誰もが憩うことのできる場所の充実を図るため、諏訪湖畔や日常生活に身近なまちなか空間に、安らぎの場を設けるための取り組みを積極的に進められるよう要望します。
5. 市民の安全な通行に配慮した、人や自転車にやさしい道路の整備を積極的に推進するよう要望します。特に、通学路については、子どもの安全が確保されるよう積極的な取り組みをお願いいたします。

**【 総合計画の推進に向けて 】**

1. 「市民総参加のまちづくり基本条例」の市民へのより一層の周知を図り、市民がまちづくりに参加する機会をさらに広げていくことにより、市民の参加意識の向上を図るとともに、行政と市民の役割分担のもと、協働により施策が推進されるよう要望します。
2. 市民のまちづくりへの参加を求めるため、わかりやすい情報発信により、市の取り組みについて理解してもらうことに加え、岡谷市を市内外へ向けて積極的にPRしていくことが重要です。あらゆる情報伝達手段を有効かつ積極的に活用し、必要な人に必要な情報が着実に届くよう努めることで、より開かれた市政運営を推進するようお願いいたします。
3. 岡谷市における行政と各区との連携・協力体制は有効に機能しており、たいへん重要なものですので、今後も積極的に連携を図るようお願いいたします。
4. 行政組織においては、部署間のさらなる連携強化を図り、効率的、効果的な施策の推進に取り組むよう要望します。
5. 行財政運営の効率化と事業効果を高めるため、広域圏または近隣市町村との連携を深め、広域的な取り組みを推進されるようお願いいたします。

## (参 考)

### 審議の際に出された主な意見・要望等

#### 《基本目標 1 「魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち」》

##### 【政策 1 基幹産業の振興】

- ・工業・商業共、近年の販促活動はインターネットを介してのアピールが有効である。ホームページの開設、運営支援など、市として積極的な支援をお願いしたい。
- ・営業能力が弱いのだと思う。そのコーディネートを支援していただきたい。
- ・企業立地、工業活性化対策について、後期においては、早期に具体的な計画を立てて実施していく必要があると思う。
- ・後継者が不足する中で、今後も事業所数が減っていくと思う。岡谷のメリットは集積地で協力体制がとれること。技術の継承が大切。
- ・部品製造の企業は多いが、完成品を作る会社が少ない。分散しているいろいろな業種、技術を集めて工場アパート的なものを検討するべき。
- ・企業側にとって岡谷に来る価値は技術と技術のコーディネートであり、市内で独自の製品を作っていくことが理想。そこに企業誘致のチャンスがあると思う。
- ・健康医療、環境エネルギーのメッカとなる地域にしていくため、成長産業への新規参入支援をお願いしたい。
- ・企業誘致も必要だが、地元でがんばっている将来性のある企業へのさらなる支援をお願いしたい。
- ・スマートデバイスは分かり難く、明確ではないと思う。もっとシンプルに、分かりやすく表現して欲しい。
- ・情報発信により成長産業の企業誘致を積極的に進めることで、若者が集まり、人口減にも少子化にも歯止めがかかることにつながると思う。

##### 【政策 2 産業の振興】

- ・中央通り 4～7丁目及び他の商店街の活性化について、支援をお願いしたい。
- ・中心市街地活性化にあっては一体性、回遊性のある商業地化はとても重要に思える。思い切った政策を期待したい。
- ・大規模な商業活動域の変化により、空き店舗数が増え、中央通りの商店、銀座、東銀座の商店街が影響を受けるのではないか。
- ・今後商業者(個店)が増えるとは考えられない。地域の個店が減少した場合の買い物難民をフォローする必要があるのではないか。
- ・大規模商業施設と既存商店街の業種的な住み分けが必要。
- ・観光について、岡谷に寄ってもらって市内にお金を落としてもらおうような発想が大切。
- ・よい土産品、農産物、工芸品等あるので、道の駅など整備して、岡谷市のあらゆる土産品、農産物、工芸品を集め、そこで岡谷市を知ってもらうことが大切である。
- ・湊の諏訪湖周辺を美化、整備を図り、観光資源に活用できる雰囲気作りが必要である。
- ・観光は諏訪湖や山、やまびこ公園などあるものを最大限に生かし、付近に使える物があれば最大限に利用することが大切。
- ・「湖に映える美しいものづくりのまち」は大変すばらしい言葉と思う。ものづくりに加え、諏訪湖、やまびこ公園を抱えた岡谷は産業観光としての価値があると思う。
- ・諏訪湖周辺のこと考えると、観光化していくことが重要。しっかりと進めて欲しい。
- ・野菜の日など推進しているが、何かひとつでも岡谷ブランドとして売るのはどうか。
- ・観光について、点と点を結ぶということが大切。また、現消防庁舎の後利用として太鼓会館を作ればどうか。



- ・岡谷の観光には、エクスカージョンの活用が不可欠。製糸に関する近代化産業遺産群や蚕糸博物館などを十分に生かし、案内人の育成など岡谷市民も参加をすることが大切。
- ・湊地区に道の駅というのも大変良い話と思う。諏訪湖周辺のことを考えると、観光化していくことが重要。スワレイクパークとして、一周全部公園にすればよいと思う。広域で、下諏訪、諏訪市と連携して大きな公園とすれば良いと思う。

### 【政策3 勤労者対策の推進】

- ・女性の就労支援をより充実する必要がある。子育て世代の女性にあっては、働きやすい環境作りが大変重要なことである。
- ・I、Jターン組を採用できるような仕組みを作って欲しい。企業にとっても地元だけではないほうが良い。
- ・Uターン学生の確保について、岡谷出身者だけではなく、幅広く採用できる様な仕組み作りをお願いしたい。
- ・大学を出て、就職したくても他所へ出てしまう。技術の継承は腰を据えていかないといけない。後継者のいない企業の技術が続くようにしっかりと支援して欲しい。

## 《基本目標2「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」》

### 【政策4 保健・医療の充実】

- ・ガン関係だけで5種類の検診があり、多くの方が検診を受けられているが、一部では予防検診受けない方が結構多くいる。受診の促進に努めて欲しい。
- ・母子保健の充実について、市内で産むことができず、市外で出産している人がいると聞くと、市内で出産しやすい支援をお願いしたい。
- ・多くの方が育児に不安を持っている。相談できる人を早く見つけることが大切。早めに公的な支援や対応をお願いしたい。
- ・母子家庭の相談体制については特に子供の育成に注意し、長時間保育や保健師の派遣を重点に行ってほしい。
- ・新病院の期待は大きい。中身が大事。思いやりなどの接遇に力を入れて欲しい。
- ・病院事業において、予防医療、健康診断等は市外からも健診を受けやすい体制作りが必要。
- ・人口が減少するなか、岡谷病院は7万人位が来院する予定となっている。まず存続できる事が大切。
- ・病院建設、先行きに期待している。今は良い先生がいるが、ある時期になると信大に戻ってしまう。医師を幅広く集めるなど、良い先生がいる状態を続けて欲しい。

### 【政策5 子育て支援の充実】

- ・産後の健診について、病院の外に託児があるが無料化できないか。また、手数料の無料化をお願いしたい。
- ・子育てについては近くに相談できる人を見つけていることが大切。保育園の職員・保母さんと子育て中の親との交流を多くするなど、心配事や悩み、問題点等を定期的に聞き、きめ細かい保護者の支援をして欲しい。
- ・暮らす地域で保育ができることが大切である。
- ・児童の幼稚園の就園を奨励するとあるが、奨励という表現を変えた方がよい。
- ・勤めている女性がいるが、子育ては苦しい。働く女性が子育てできるように、どこかに預けることが安心してできるとか考えて欲しい。
- ・3人目以上の子供に対しての支援をもっと大胆なものにして欲しい。出生数や他市町村からの転入を増やせるのではないかな。
- ・3世代同居の推進について、岡谷市で今後のことを見据えて着手をして欲しいと思う。
- ・現在未婚男女が多数市内にいると思う。行政主導で婚活事業を行ってはどうか。
- ・人口減対策としての婚活について、各企業にも声がけして他市町村との交流などはどうか。
- ・県が主導で婚活に取り組む「婚活に向けたおせっかいおばさんの養成の研修」がある。近所だと顔が見えてしまうということもあるので、広域的に取り組めばいいと思う。

### 【政策6 福祉の充実】

- ・地域サポートセンターについて、事業の内容など市で指導や設立後のフォロー、状況把握を継続していく必要がある。
- ・地域サポートセンターについては、地域で取り組みの内容が違う。各地域での取り組みの情報を提供していけば地区での活動が活発になると思う。
- ・地域サポートセンターがどういう役割を担うのか、分かりやすく周知して欲しい。
- ・地区によっては、すべての団体がサポートセンターに所属していて、子供向けの行事などでは育成会、PTAなど、高齢者向けは壮年会、一般向けは・・・など明確な区分けができています。こうした取り組みを推進してはどうか。
- ・障害者福祉の推進について、発達障害者が年少者を中心に多くなってきている。対処内容が法律的にも少なく、今後の大きな課題と思う。検討をお願いしたい。

## 《基本目標3「自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち」》

### 【政策7 環境保全の推進】

- ・再生可能エネルギー普及啓発の推進は継続してほしい。公共施設への導入も積極的に推進していくべきではないか。
- ・災害、緊急時のことも踏まえ、新病院、新消防庁舎、ごみ処理施設への再生可能エネルギーの積極的な導入が必要ではないか。
- ・エネルギーについて、バイオマス燃料は岡谷市でも実際に作っているものがある。活用について検討してはどうか。
- ・住み良いきれいな街の推進は大切だと思う。市民全体でゴミのポイ捨て防止に努めるとともに、ゴミ箱の設置個所も増やしてはどうか。
- ・野外焼却、不法投棄に困っている。ポイ捨て条例があるが、近所同士でトラブルになるなど市民には対応が難しい。市として取り組みをお願いしたい。
- ・不法投棄監視についてあまり効果があがらない。ペナルティを科せる、厳しいものが必要ではないかと思う。
- ・こどもエコクラブについて、教育委員会、育成会を通じて団体数を増やすなど、活動の支援をお願いしたい。
- ・アレチウリ駆除について、市としては全市的に駆除できる体制をとってほしい。
- ・自然環境保全の推進で諏訪湖浄化の促進について、市だけではなく、県や国と連携して取り組んで欲しい。

### 【政策8 循環型社会の構築】

- ・ごみ分別について、生ごみや小さな紙についても、今はほとんどリサイクルできる。できれば監視を強化してほしい。
- ・分別が進んでいるが、新しい清掃工場ができてでも可燃ごみの減量は必要。特に生ごみが課題なので回収の拠点を増やすなど対応をお願いしたい。
- ・公衆浴場が2軒になったというのは利用者が少ないからだと思うが、2軒だけで市民が普通の生活ができるのか不安になる。
- ・内山霊園は、景観やアクセス、価格の面で選択しやすい条件が整っている。今後も新規造成の継続をお願いしたい。
- ・後継者のいない方を合同で埋葬することが可能な「共同合祀墓」を整える必要性を感じる。

### 【政策9 安全・安心な暮らしの確保】

- ・塚間川、大川は依然として溢水被害が続いている。より効果的な対策をお願いしたい。
- ・塚間川については改修が終わっているように思うが、溢水したということは、規模的に防止するだけのものができていないということ。対策をお願いしたい。
- ・豪雨が「想定外」ではない気候になってきたので「想定内」とした市内排水路の見直しを順次進めていく必要がある。
- ・危機管理マニュアルなどの整備は進んでいると思うが、市民に対するマニュアルの中身の周知、



危機管理の内容を市民がどの程度理解しているかを把握することが大切。

- ・空き家の老朽化が進んできている。解体もしくは補修という、所有者に対する対策が書いてあるが、安全に関しても心配。対策をお願いしたい。
- ・高校生、中学生の自転車事故が多くなっている。小学生に自転車を教えることは大切だが、それ以降の交通安全意識の高揚も重要。教育委員会と協力して意識啓発をして欲しい。
- ・市内では学校に通う通学路の歩道が大変狭い個所が多数点在している。安全な歩道の充実も重要項目に取り入れていただきたい。
- ・防犯について、防犯活動の推進とともに積極的なLED防犯灯の設置をお願いしたい。
- ・消防団について、防災意識の向上、人材育成など、市民に必要とされている組織だと思う。新入団員確保にもっと力を入れていただきたい。
- ・災害情報伝達体制について、防災ラジオは有意義だと思う。個数を増やすなど、少しでも皆さんに聞いていただきたい。
- ・上下水道について、節水、節約により使用量が減ると収入が減ると思う。コスト削減を考えていただければありがたい。

## 《基本目標4「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」》

### 【政策10 生涯学習の推進】

- ・不登校の児童・生徒数が目標指標からなくなっている。不登校というのは大きな重要項目である。不登校をゼロに近づける施策を入れて欲しい。また、指標としても満足度でなく明確に不登校の児童・生徒数にして欲しい。
- ・特別支援教育について、障害者など不自由な方を指すと思うが、貧困家庭も問題となっている。そういう貧困家庭に対する取り組みがあればと思う。
- ・教職員の研修等も増やしていると思うが、研修の充実だけでなく違ったアプローチはできないものか。
- ・先生の言葉、態度が子どもの成長に大きな影響を与える。激務で先生が疲れていたり、病んでいると子どもにとって良い環境ではない。教員に対する支援策をお願いしたい。
- ・部活動から社会体育への移行など、学校や先生と、保護者との意思疎通がうまくできていない。市内中学共通の問題なので、市が説明をするなど支援体制をお願いしたい。
- ・緊急性を要する内容に24時間対応する児童相談専用電話についてはあまり周知がされていない。周知・広報に力をいれてもらいたい。
- ・子ども総合支援センターには終日子育ての不安に答える110番の設置をお願いしたい。祖父母や地域とつながりが持てない育児世代も多くいる。
- ・学童クラブについて、高学年の受け入れについて、実施する場合は、担当者を増員し地域ボランティアと連携できるよう要望したい。
- ・高学年を受け入れていくのであれば、役所だけでは対応できないので、ボランティアも協力していくことが必要。
- ・「人を活かす市政」として、地域社会の中で、コミュニケーション能力や社会順応性の向上を目的とした社会教育の充実を図り、人材育成の場を構築して欲しい。
- ・教員住宅は敬遠されていて、一般のアパートを借りる方も増えていると聞く。老朽化して壊した方がよいものも見られるので対応をお願いしたい。
- ・学校の施設の整備について、市内の学校はだいぶ老朽化して特にトイレの臭いなど気になるので整備して欲しい。

### 【政策11 文化・スポーツの振興】

- ・ララからイルフまでを岡谷の文化ゾーンと捉え、生涯学習館に図書館を設置してはどうか。読書は教育にとって大切なので取り組んで欲しい。
- ・蚕糸博物館と美術考古館がもう少しオープンする。せっかくできるので、これからどう利用していくか。ソフトの充実に努めて欲しい。
- ・美術考古館について、館長は専門的な知識がある方と思うが、運営を魅力的なものにしていくには運営審議会のような組織が必要ではないか。イルフと美術考古館を両輪として、文化のかおり

高いまちづくりをお願いしたい。

- ・空き店舗を美術館にすることについて、全国に例が無いことであり、外からお客さんを呼べるような、いいお手本になる運営をお願いしたい。高度な専門的な知識のある学芸員を配置して欲しい。
- ・史跡公園について、色々な史跡を巡るような取り組みをお願いしたい。
- ・蚕糸博物館ができるが、明治から昭和初期にかけて実際にやってきた方々が高齢になり、話を聞く機会がなくなってくる。一刻も早く、話を聞いて、資料を残す取り組みをお願いしたい。
- ・岡谷市民は素晴らしいスポーツ施設に恵まれている。目標値を超える施設利用がある。これらを活用した生涯スポーツの推進にさらに取り組んで欲しい。
- ・子ども達のスポーツは、学校以外でも民間の活動団体が盛んになってきた。指導者の育成や資格取得などを行政が支援し、良い団体とすることで子ども達の成長につながると思う。
- ・スポーツ施設にはスワンドームやスケート場など立派な施設があるが、活かしきれていない。岡谷市体育協会と市で連携をとって活用を図って欲しい。
- ・スポーツ振興の中で、スポーツ大会への子どもたちの参加を求めていくこと大切。
- ・スポーツの振興について、岡谷市からオリンピック選手やトップアスリートを輩出できるような仕組みを考えてもらいたい。
- ・子どもの成長に合わせた指導が大切と考える。継続した取り組みをお願いしたい。
- ・17歳で金メダルを取る時代。可能性のある子どもには力を入れて支援をお願いしたい。

## 《基本目標5「快適に生活できる、都市機能の充実したまち」》

### 【政策13 計画的土地利用の推進】

- ・都市計画マスタープランと今回の後期基本計画は、2年間ぐらいは空白期間ができる。27年以降でないといけないのでは無いのか。
- ・駅前活性化と共に、ラオカヤの見直し、再利用について何とかならないか。
- ・天竜川の管理は県だが、自然環境の保全という意味合いから、関係している区は、年2回の草刈りなどを実施しなければならない。区民ががんばってやっているということを県の方へ伝えて欲しい。
- ・市営住宅について、増加する単身高齢者などの状況を把握するため、定期的に回るというのが大事だと思う。きめ細かい対応をお願いしたい。
- ・可住地面積が小さいので、身の丈の大きさの市で、快適な暮らしができれば良い。そういうまちづくりが大切ではないか。
- ・人口減少について、22年先には38,000人になるという推計もあり、22年先を見た計画、できるだけコンパクトで機能性の高いまちづくりが必要。
- ・潤いある湖畔一体の整備という中で、諏訪湖の臭いについて、もう少し政策がとれないか。これは諏訪湖周辺全部で取り組まなければいけないと思う。
- ・特産の味や景観など、まちの魅力をPRしながら、空き家や宅地の販売物件などを案内するバスツアーが近隣の町で始まる時いた。岡谷もかなり空き家があるので、取り組んでみたらどうか。空き家対策としてのそういう良い事を1つずつでも進めてもらいたい。

### 【政策14 交通網の整備】

- ・道路の整備について、人と自転車に優しい道路をつくって、人、自転車が優先するようなまちづくりをお願いしたい。
- ・横河川の土手は、桜のトンネルという感じでとても良い場所。自動車の通行を制限するなどお年寄りや子供連れなど、憩えるような道にして欲しい。
- ・渋滞箇所が点在している。渋滞の緩和策についても考慮しながら道路整備を進めて欲しい。
- ・シルキーバスに関して、これから益々重要性が増してくる時代になると思う。持続可能な交通機関としていく取り組みをお願いしたい。



### 【 政策 15 都市空間の充実 】

- ・市の公園や市有地などの整備を各区・地区で自主的にやっている箇所がある。草刈機の燃料代など、市で助成できないか。
- ・既存公園の機能充実に関して、利用の少ない施設については、施設の再利用、新たな取り組みなど考えていただきたい。
- ・やまびこ公園をはじめ、出早公園、花岡公園など、諏訪湖があつて、緑が周辺にある環境はなかなかないので、観光振興に生かして欲しい。
- ・やまびこ公園は整備もよく、PRをすればもっと人が集まる要素を十分もった公園だと思う。ぜひこの公園を生かして欲しいと思う。
- ・諏訪湖ハイツから赤砂までの間を含めて、開発整備を具体的に考えていただきたい。
- ・ライフパークなど、子どもたちが自由に走ったりできる、車が入れないような地域を作ってみたら良いのではないか。
- ・街路樹の名前が表示されていることで市民にとってはまちを歩く楽しみにもなる。樹名板の設置数をできるだけ増やして欲しいと思う。
- ・緑の基本計画について岡谷市が取り組むことは良いことだと思う。インター周辺は、看板や街路樹など、美しいまちというイメージを作ってもらいたい。
- ・岡谷インターについて、まちのイメージを明るくするため、PR、看板設置、花の植栽等考えてみてはどうか。

### 《総合計画の推進に向けて》

#### 【 市民総参加のまちづくり 】

- ・市民総参加について、参加意識の高い人は少ないと思う。広く市民からの意見を取り入れることで、今よりも参加意識の高い人を増やしていくことができると思う。重要事項として内容を精査し進めていただきたい。
- ・市民総参加のまちづくりで、一般市民の参加が少ないように思う。役割をどう担っていくかということを少しずつ理解していく姿勢は大事であると思う。
- ・色々な人に来てもらって話しをする機会を作れば参加意識も変わるのでは。そんなコーディネートをして欲しい。
- ・同じ区の中の情報が把握できない。互いに情報共有をしながら、まちづくりに対して一生懸命やる人をもっと増やしていくことが大切ではないかと思う。
- ・どの区がどんなことをやっているかという情報から、いいアイデアが出る。他の区の取り組みについて情報提供する仕組み作りをお願いしたい。
- ・広報おかやに地域の情報がのっている。地域の活動の自慢みたいなものをシリーズ化すれば市民に見てもらえると思う。
- ・ただ回覧板を回すのではなく、区、衛生自治会などにそれぞれ声をかけることが大切。そういうことを地道にやっていくことが市民総参加につながるのではないか。
- ・岡谷市の活力は区の活気による。区の活気はその区の各種団体のいろいろな活動に委ねられているところが大きい。その拠点となる地区のコミュニティ、区民センターでそれをいかに充実していくかが非常に大事になってくる。小さなことをそれぞれの地区で大事にしながら一緒になって活動するというのも市民総参加のまちづくりだと思う。
- ・大きな事業所がない区だとお金がない。市からのいろいろな依頼に区は精一杯こたえようとしている。区への助成金について増額を検討して欲しい。
- ・助成金について、案外少ないなという印象。地域でこんなことをしているということを聞いて、区から要望等あれば優先的に協力をお願いしたい。
- ・地域コミュニティとして、岡谷市の21区は素晴らしい形。これをうまく活用する仕組みを考えて欲しい。
- ・区の三役などの中に必ず女性を入れていただきたい。区長会も女性区長というのはほとんどいない。

- ・男女共同参画については、積極的な登用も必要だが女性の意識改革も必要。積極的に参加する女性に対する評価など参加し易い雰囲気作りが大切と思う。

#### 【 開かれた市政運営の推進 】

- ・情報公開、個人情報保護について、地区の活動上、本当に必要な情報を知ることができないので、柔軟な対応をお願いしたい。

#### 【 将来を見据えた行政経営の推進 】

- ・岡谷市には多くの部、課があるが、各部署間の連携をさらに推進する仕組みを構築していただきたい。
- ・これからの5年間は病院、消防署など非常に大きなお金が動くし、借金も増えるという中で、一市民としてはこれから不安。これからの5年間は非常に厳しくなるのではないかと思う。効率的な市政運営をお願いしたい。
- ・ふるさと納税をした方に対し、産物など日常生活につながる物を贈るほうが効果的。また、ふるさと納税をすることでこういう特典があるという広報を充実してはどうか。
- ・わかりやすい予算書の資料について、人口も絡めた暮らしやすさなど、いろんな情報を入れながら作っていると思うが、より意識してお願いしたい。

#### 【 広域市町村との連携 】

- ・市町村合併について、火葬場、ごみ焼却施設などそれぞれ合併してやっているようなもの。大きくなるほどいいこともある。協力してやれること、広域連合や隣のまちとの連携できるもの、必要なものは積極的にやって欲しい。





## 後期基本計画に対して寄せられた意見（パブリックコメント）

### 《「第4次岡谷市総合計画後期基本計画（諮問案）」に対するパブリックコメント》

1	<p>商業復興ですが、経営者の経営意識改革が重要だと思われます。現在商品の購入はネットショッピングに移動しており、品揃え、価格、販売方法という部分において店舗販売は、劣っております。そうした中でどのような形で販売能力を上げていくかと考えたとき、インターネットの利用は勿論のこと、地域利用(例・現在岡谷市老人人口が最大という状況にあります、そのような状況を逆手に取った配達、チラシ、営業)、商店街の結束(例・商店街での季節ごとでのイベント開催〔クリスマスツリーを商店街店舗ごと独自の飾り付け〕)etc を時代に合わせ行い、経営者へその考え自体を促す必要性があると私は思います。そのような経営者の為のセミナー、経営者同士の話し合いの場が意識改革に繋がり、岡谷市独自の店舗が増え市全体の復興にも繋がると思ひます。この際岡谷ブランドのマークの利用にも繋がりを持たすことが出来れば良いと思ひます。</p>
2	<p>災害に対する防災面に関してですが、現在世界各地で様々な災害が発生しております、日本においても地震、津波、異常気象、原発問題 etc の災害が発生しており、いつそのような状況が自分の身に降り掛かるのかわかりません。そのような災害に対して、市民の暮らし、避難対策・対応、減災、市民の意識向上にどこまで力を発揮できるのかが重要になってくると思ひます。</p> <p>30年以内に長野県は大地震が発生すると言われております。そうした中で岡谷市全域の対策としては勿論のこと特に諏訪湖周辺の防災対策(地盤が緩い)を強化する必要があると考へられます。全域の対策としては、建物の状況把握(建物の築年数、建物の構造種類、建築基準法の改訂前後 etc)、道路の状況把握(幅員、緊急車両が通ることが出来るのか、ブロック壁の配筋有無 etc)、旧諏訪湖と現諏訪湖との位置・地盤状況などの現状をGISデータと組み合わせ、住民に現状が震災時どのような被害になりそうなのか知って頂くことが必要です。被害予想をハードから出来る限りソフトに伝え、考へる機会を与え防災町づくりなどの時に深い意見を聞き出せる状況にまで持っていけたらと思ひます。そして市民自身の自分自身で出来る防災・減災をして頂き災害に対する意識を変えて頂くことも出来ればと思ひます。</p> <p>特に岡谷市は老人人口が高い状況化から、避難所立地が重要であると思へられます。そして、確実に移動出来る避難経路を確保出来るのか・ルートを把握しているか、諏訪湖周辺の安全はしっかり確保されているか・実際どこまで機能するかという部分を出来るだけ明確にする必要性があります。その上で避難訓練を実施し、災害時多くの方が対応出来るような環境を作ることが出来ればと思ひます。</p>
3	<p>最近とみに気になっていることがあります。それは、高校等の中退して、職に就かず(就けず)ふらふらしている子供の受け皿がないということです。家庭だけに任せるのではなくて、何か支援できる、職業訓練等の紹介等の相談支援をする場があれば考へています。将来の岡谷市の健全な納税者を育てるためにも重要なことではないかと考へています。</p>
4	<p>3-2 雇用対策の充実</p> <p>中卒家居・高校中退者の受け皿がないことは大きな問題となっている。教育分野の発達支援＝教育支援とつなげて根本的な改善をねらいたい。</p>
5	<p>4-4 医療体制の充実</p> <p>この数年教育現場で生じている「小児の発達障害の専門的診療(療育を含む)」「思春期精神疾患の診療」の莫大なニーズが正しく把握されるべき。</p> <p>小児医療の中でも、発達障害の診療、思春期精神疾患の診療を強調したい。「保健、福祉」のみならず、「教育」からの行政需要への対応も謳われるべき。</p>
6	<p>6-1 地域福祉の推進</p> <p>支援センターがどこまでカバーするかは検討が必要。</p>

7	<p>6-2 障害者(児)福祉の推進</p> <p>一人でも多くの「税金の払える市民」を社会に位置づけるためには、この部分に相当な力を注ぐ必要がある(文科省の発表では「学習面、行動面で著しい困難を示す児童生徒」は普通学級に6.5%。精神科医によるある調査では路上生活者の3割が知的障害・発達障害=大きい数字)。「現況と課題」にある「連携」は、部門の垣根を越えた一体型の組織が最良と思われる。</p> <p>発達障害への具体的な就労支援(ジョブトレーニング、職場の人たちの本人理解、雇用者との折衝調整など)は、既に成功している専門機関のノウハウを取り入れていくと即効性が得られる。</p> <p>例)東京都「明神下診療所」:成人の発達障害者を対象としたデイケアや支援の専門職向けのワークショップがある。</p>
8	<p>10-1 学校教育の充実</p> <p>「関係機関」のなかでも医療機関(思春期精神科医療)との連携が特に重視されるべき。敢えて「医療機関」の文言が加わるとよい。</p>

#### 《「第4次岡谷市総合計画後期基本計画(修正案)に対するパブリックコメント》

1	<p>表記についての要望です。「障害者」これは国のレベルでは、この表記となっているようですが、「障がい者」という表記をお願いしたいと思います。本来の意味とは違ってしまっている「障害者」という表記を見直している地方自治体が出てきています。率先して間違った表記をしない自治体となって頂ければと願っています。</p>
2	<p>現在、岡谷市ではスクールカウンセラーをはじめとする学校での支援体制は地域でも突出した手厚さにてサポートが行われており、大変すばらしくまた、感謝しております。そのような中で感じていることとして、親側のサポート体制の充実を希望します。現在もフレンドリー教室において、親のまなごしの会が開かれておりますが、カウンセラー、支援教室の先生なども交えて横方向の情報交換がもっと活発にできればと考えます。特に不登校、いきしぶりについては、子どもさんによって、十人十色の対応が必要であります。家庭での対応を考えてゆく上で参考になる情報をもう少し市の関係者、関係する組織・団体の方が主体となる形で発信していただければより良い回転が生まれるのではないかと感じます。</p>
3	<p>基本目標 1          政 策：1 基幹産業の振興          施 策：1-1 工業の振興          細施 策：(2)工業活性化対策の推進          細々施策：④成長産業に係る情報提供支援</p> <p>の文章中、例示されている成長産業に「航空・宇宙産業」を加えていただきたい。          (例)国や県の成長戦略などと歩調をあわせながら、健康・医療・福祉関連産業や環境・エネルギー関連産業や航空・宇宙産業などの成長産業への取り組みを支援するため、情報収集および的確な情報提供に努めます。</p>



## 第4次岡谷市総合計画後期基本計画

- 発行日 平成26年
- 発行 岡谷市
- 編集 岡谷市企画政策部企画課

イラスト 武井武雄（1894～1983）岡谷市出身の童画家。鳥をモチーフにした作品を数多く描く。